

九重連山&由布岳

山行日 2022年6月9日～13日

参加者 L K地 SL M藤 O川 Y田m W部h

行程 9日 長者原 12:30-雨ヶ池超 14:30-法華院温泉 15:30

10日 小屋 6:55-立中山 7:55/8:05-大船山 10:30/10:40-段原 11:13/11:30-

北大船山 11:40-大戸越 12:30/12:45-平治岳 13:35/13:45-法華院温泉 15:30

11日 小屋 6:00-雨ヶ池越 6:55-長者原 8:30 (雨天のため変更)

道の駅や日帰り温泉入浴等してチェックイン 15:00 にユースホテル嘉手川

12日 ホテル 7:40-由布岳正面登山口 8:10-マタエ 10:15/10:30-由布岳西峰 10:45/55

-マタエ 11:25/30-由布岳東峰 11:40/12:10-日向越 13:40/13:50-登山口 14:50

13日 ホテル 6:00-牧ノ戸峠 6:50/7:00-星生山分岐 8:35-久住山避難小屋 8:50/9:10

-久住山 9:40-避難小屋 10:20/10:45-牧ノ戸峠 12:20

ミヤマキリシマが見たい!

ミヤマキリシマ・法華院温泉・坊ガツルはテレビの山番組で何度も見ていて、いつか行ってみたい憧れの山でした。このほどLの菊地さんから誘っていただき念願だった久住連山に行くことができました。

9日 格安飛行機で熊本空港へ、空港からレンタカーを借りて登山口の長者原に12時過ぎに着き歩きはじめる。天気は高くも雨ヶ池の木道に出たら初めてミヤマキリシマが咲いていて写真タイム、雨ヶ池越を過ぎて下って行くと急に目の前が開けて坊ガツルの草原が広がっています。ここから右にしばらく歩くと今日の宿法華院温泉に到着。ついた途端に土砂降りの雨になり一同ほっとし、まずは温泉へ直行～良いお湯でした。

10日曇り時々晴れ

今日一日は立中山から大船山・平治岳とミヤマキリシマ

を求めて周回コース、行く前、今年は虫の被害がひどく時期も遅いので花は期待できないと皆が思っていた。まずは法華院温泉から鉾立峠をめざし立中山に登る、途中ミヤマキリシマの群落が出てきたけどお花は所々に咲いているがここも虫の被害に遭っていた。咲いていたら見事だろうねえ～とため息。

次に期待して大船山に向かう、しかしですねこの登山道あまり歩かれていないようでぬかるみひどく、不気味な暗い森の中を進んでやっとのことで大船山の登山道と合流。今までとは違って変わり広い登山道を登って行くと開けたところから北大船の中腹がピンクに染まっているのが見えた。

段原分岐に着き一休みして大船山登頂、下を見たらミヤマキリシマのピンク色の群落が見えました。分岐に戻りお昼を食べていたら、登山者の人に黒岳方面に少し行くとお花の群落があるからぜひ行きなさいと教えてもらい行って見たら・・・ほんとに一面ピンク色です!!今回、お花は諦めていたので一同大感激で写真を撮りまくりました。お花の最盛期はもっとすごいのでしょね～でも良いのですこれだけ見られたら大満足です!!

段原分岐から北大船山を通り大戸越分岐まで下る、ミヤマキリシマは平治岳が一番凄いら



しいが今年は遅かったのと虫の被害でいまいちでしたが予定通り平治岳にも登り満足して法華院温泉に戻りました。

11日雨

今日の予定は法華院温泉から久住山にのぼる予定でしたが、雨がひどく皆で検討した結果久住山は最終日に登ることにして長者原に下山することにしました。長者原から湯布院に移動、雨の中湯布院を散策して予約した宿に入ります。このお宿が湯布院の中でもお安く食事も美味しい、もしまた来ることがあったら絶対に泊まりたい。

12日晴れ 由布岳登山 (小川記)

13日曇り後雨

今日は最終日、お天気が不安定なので宿を早めに出発、牧ノ戸登山口に到着して久住山を目指し登り始める。第1展望台まで登ると雨が落ちてきた～もう少し持ってくれと思ってたのになぁ雨具を着込み尾根道に付けられた登山道を登って行きます。少々の雨でもガスっていないので山並みが見えてところどころにミヤマキリシマの群落が見られる。避難小屋に着いて一休みしてから久住山に向かう、尾根に出たときにここにもミヤマキリシマの群落が絨毯のように広がっていて嬉しい驚きです。久住山に登頂して雨がひどくなってきたので中岳には行かず元来た道に戻り無事に牧ノ戸登山口に下山。5日間の長い日程では雨も仕方ないが、メインの大船山・平治岳と由布岳登山では晴れたので達成感のある楽しい山行でした。おまけに熊本城にも行けたしね。計画してくれたリーダーの菊地さんとメンバーには感謝です、ありがとうございました。(山田美恵子記)



由布岳 美人山・スリル有りの達成感 100%以上

「やまなみハイウェイ」から直接入れる交通の便の良いところにある正面登山口から登る。登山口からの景色は、広大な牧野が広がりその後ろに均整の取れた美しい山容の由布岳の全景がドーンとあり、素晴らしい眺めでした。山頂は東西に峰を持つ双耳峰で地元では「猫の耳」と言われているそうです。

登り始めは草原を10分ほど歩くと、広葉樹林の「由布鶴見自然休養林」になり、途中には、トイレやベンチの休憩所がありました。合野越からは岩がゴロゴロした急坂を登りきると、西峰と東峰の鞍部である「マタエ」に到着です。

西峰にクサリを使って登り「マタエ」に戻り東峰に登りました。西・東峰とも 360 度の素晴らしい眺望でした。

下山は東峰からの道で、固定ロープやクサリの連続でしかも急な尾根を下り、つづら折れの道やアップダウンがあり、わかりにくい所も多くピンクのテープと黄色のペンキを目印に日向岳分岐まで、まだかまだかと思いながら下りました。

自然休養林の登りの登山道では大勢の登山者いたのとは大違いで、険しい所も多くあり、登山者とは数人しか会いませんでした

「由布鶴見自然休養林」に合流し牧野を歩いて正面登山口に帰ってきました。

本当に眺めの良い、スリルと適度な道のりがあり、達成感が味わえた山行でした。

小川和子

森カントリーロードユースホテル嘉手川 ☎0977 84 3734

NHK の 100 名山の由布岳ガイドをやっていた時、宿も経営と聞き予約

食事美味しく清潔な宿 温泉 2食付きで 6,060 円(人数で変動あり)

ナイトコースで蛍観賞へ お勧めの宿です



ミヤマキリシマの群生に少女の微笑み



由布岳西峰で二週間前に滑落事故で亡くなっており
慎重に登り降りをする

スリルもあり、素敵な山で 100 名山になぜ入らなかったのか？